

リニアトンネル工事のリスクと環境破壊

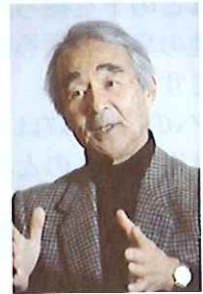
あなたの家の下、大丈夫？

リニアが無断で家の下を走ります
(大田・品川・世田谷の計画住所地は裏面)

[講演と報告]

日時：11月4日(日) 午後1:30~4:00

講演：島村 英紀さん 地震学者、地球科学者
『高速鉄道のトンネル - 地震の危険性』



沿線各地から報告・アピール
東京外環道(世田谷区)

(予定) 大田区・品川区・町田市・川崎市・相模原市・名古屋市

リニアが都市圏<東京・神奈川・愛知>の家の下を通ります。国交大臣が大深度地下法の認可を下ろすとトンネル工事が始まるかも知れません。誰も使っていない大深度地下(基礎から40m以深など)は、地上への影響も無いと言いますが、外環道の大深度地下(世田谷区野川)をシールドマシンで掘ったら、死に至る低酸素が地上に出て工事が止まりました。

日本初の住宅真下のトンネル工事で、住宅や地下水などへの影響は大丈夫でしょうか。

会場：嶺町集会室(文化センター) 大集会室
東急池上線雪が谷大塚駅下車徒歩約7分

参加費(資料代) 1000円
学生500円



島村 英紀(しまむら ひでき)プロフィール

1941年生まれ、1969年東京大学大学院地球物理学博士課程修了、理学博士。

武蔵野学院大学特任教授。前国立極地研究所長。文藝家協会会員。ポーランド科学アカデミー終身会員。

地震学者(地球物理学者、地球科学者)、日本文藝家協会会員、評論家、エッセイスト。

著書は、『地震をさぐる』、『地球の腹と胸の内—地震研究の最前線と冒険譚』、『人はなぜ御用学者になるのか』(共栄書房)『「地震予知」はウソだらけ』(講談社文庫)など多数。

主催：リニア・市民ネット東京

共催：住環境とリニアを考える田園調布住民の会

協力：国際環境 NGO FoE Japan

連絡先 042-565-7478(かけひ) tez7@nifty.com

「大深度」のトンネル工事でも地上に影響！

気泡、酸欠ガス、出水！ 東京外環道のトンネル工事で
都市圏でリニアは40メートルより深い『大深度地下』のトンネルが掘られる予定です。

世田谷区の野川で気泡が生じていることを住民が発見しました（今年5月）。この下を東京外環道のトンネルが掘られており、その影響です。

トンネル工事はリニアと同様「大深度地下」の工事でシールドマシンにより掘られています。これまで都市部でのトンネル工事はすべて道路などの下を掘られていました。

住宅地の真下を掘るのは、東京外環道とリニアが初です。

「地上への影響はない」とする「大深度法」の前提は崩れたものと言えます。

気泡は酸欠ガス 陥没や地下水汚染も心配

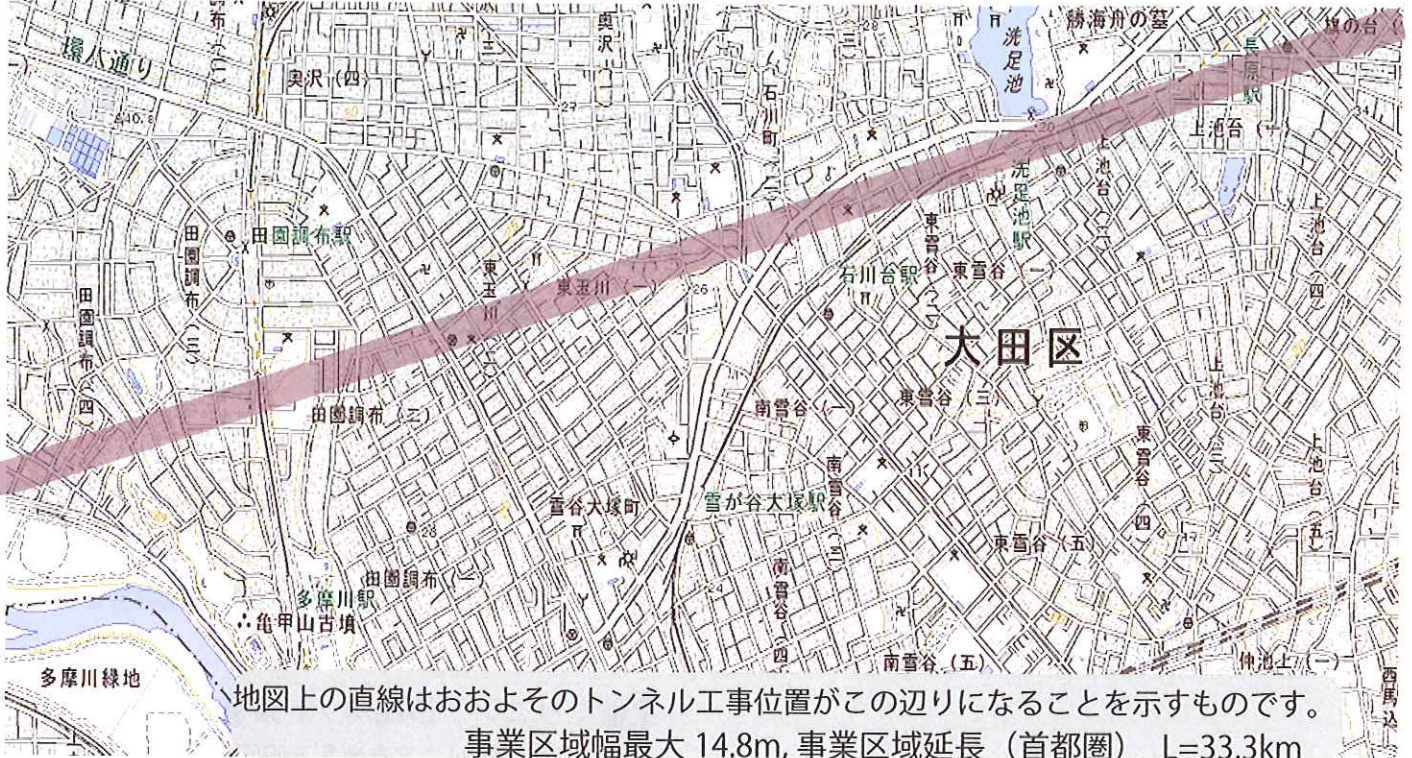
地下の酸欠事故について、

厚労省は測定は半径1キロの範囲にすることを定めるなど注意喚起しています。影響は直上だけではありません。地下室などで死亡事故もあります。地下水の汚染、陥没なども心配です。

田園調布などの住宅の庭や床下から気泡や、酸欠ガスが出たら、また陥没などが起きたらどうなるでしょうか？



【品川区】北品川3丁目・北品川4丁目、北品川1丁目、広町2丁目、西品川2丁目、豊町2丁目、豊町3丁目、戸越5丁目、戸越6丁目、東中延2丁目、中延3丁目、中延4丁目、旗の台3丁目【大田区】上池台1丁目、上池台2丁目、東雪谷1丁目、東雪谷2丁目、石川町2丁目、田園調布2丁目、田園調布3丁目、田園調布4丁目、田園調布5丁目【世田谷区】東玉川1丁目、東玉川2丁目



リニア中央新幹線のルート地図は以下のサイトで見るができます。

http://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/daishindo/shiyoninka/_pdf/13-01.pdf